

大学院入試 Q&A 2024年度版

入試全般について

Q. 大学院への出願資格はどうなっているのでしょうか？

A. 概略を述べますと、修士課程に出願するためには学士（又は相当）の学位が、博士課程に出願するためには修士（又は相当）の学位が取得済み、もしくは取得見込みであることが必要です。それ以外にも、学士と同等、修士と同等と認められる場合がありますが、その場合には必ず、出願前に入学資格審査を受けていただく必要があります、この入学資格審査で「相当」と認められてはじめて出願することができるようになります。詳しくは、募集要項をご覧ください。

Q. 私は、短大を出たあと、大学院修士課程に入学し、修了しました。つまり、「学士」は持っていませんが、「修士」は持っています。このような場合、修士課程に出願することはできますか？

A. 「学士」をお持ちでないということなので、修士課程に出願するには、出願時に、個別の入学資格審査を受けていただく必要があります。このケースでは入学資格審査を受けずに出願しても、出願資格は認められません。

Q. 募集要項や願書はどのようにして入手できますか？

A. 修士課程、博士課程ともに募集要項は冊子では配布しません。またオンライン入力のため、願書も配布しません。オンライン出願受付時に指示に従って必要事項を入力し、それをご自身で印刷することになります。なお、出願用のウェブサイトは7月の出願受付開始時に公開します。

Q. 過去の入学試験問題は入手できますか？

A. 過去の入学試験問題は、東京大学文学部複写センター（東大本郷構内・法文2号館地下、電話 03-3814-9301）で販売されています。詳細については直接問い合わせてください。なお、2021年及び2022年度入試（2020年及び2021年度実施）では新型コロナウイルス感染症への対応として、従来とは別の形（試験科目・解答方法）で入試を行っております。過去問をご覧になる場合にはご注意ください。

Q. 教育学研究科内の他の専攻、他のコースを同時に受験することはできますか？

A. 入学試験は同一の日程で行われるため、同時に受験することはできません。また、修士課程と博士課程の両方を同時に受験することはできません。

Q. 教育学研究科の教員に直接質問したいのですが、可能でしょうか？

A. 個別面談をするか否かは、それぞれの教員の判断にまかされています。これに関しては、まず希望する教員の所属するコースに連絡してください。なお、教員との面談等は原則として入学願書受付開始前までとなります。さらに、面談でお答えするのは研究内容（専攻分野）、研究環境、カリキュラム、修了後の進路状況等に限ります。なお、研究計画書に関する質問を含め、入試に直接関わることは募集要項記載内容以上のことは一切お答えできません。

Q. 研究計画書にはどのようなことを書けばよいのでしょうか？ またどのくらいの量のものが求められているのでしょうか？

A. 研究計画書には主に、本学を受験するまでに自分が関心をもって取り組んできた研究や、関心をもって研究してきた具体的な内容と、今後やってみたい研究等について、それぞれ 1200 字程度で簡潔に記載することが求められています。具体的な内容は、「研究計画書のフォーマット」を参照してください。

Q. 修士課程に出願予定ですが、学部時代と違う分野に出願予定です。この場合、研究計画書の「I. 関心をもって取り組んできた研究の主題および内容」はどのように書いたらよいのでしょうか。

A. 修士課程での研究分野にとらわれずに自身がこれまで関心をもって取り組んできた研究等について、記載してください。

Q. 社会人でも教育学研究科で学べますか？

A. はい。ほとんどのコースで授業は月～金の平日に開講されていますが、長期履修学生制度というものがあります。これは、フルタイムの有職者の方などを対象としており、修士課程や博士課程の標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に履修し課程を修了することができる制度です。なお、本制度を希望する方は、入学後すぐに申請する必要があります。

詳しくは、教育学研究科学生支援チーム（大学院担当）（募集要項「注意事項」に記載されている連絡先）にお問合せください。

Q. 長期履修学生制度は社会人だけが対象ですか？

A. この制度は、フルタイムの有職者の他、出産、育児又は親族の介護を行う必要がある方、視覚、聴覚、肢体その他の障害があるため長期にわたり修学に相当な制限を受けると認められる方も対象となります。

Q. 海外在住の外国人ですが、オンラインで受験できますか。

A. 第一次試験はオンラインでの受験はできません。なお、第2次試験はオンラインで実施します。

Q. 外国語で持ち込む辞書ですが、どのような辞書が持ち込み可能でしょうか。

A. 言語による制限はありません。外国語（英語）の解答に必要とご自身で判断した辞書は持ち込み可能です。

出願書類について

Q. 2つの大学（院）で学位を取りましたが、証明書は両方の大学のものを出す必要がありますか。

A. 出願資格とする大学の証明書のみ提出してください。

Q. 編入学した以前の大学の卒業証明書は必要ですか。

A. 出願資格とする大学の証明書があればよく、編入学以前の卒業証明書は不要です。なお、成績証明書は必要です。

Q. 証明書の発行申請中だが、出願期間内に間に合わないので、他の書類を先に提出し、証明書は発行次第追加で提出してもよいですか。

A. 出願書類を郵送する際に、証明書は現在発行申請中（いつまでに発行見込みかも含めて）である旨メモを入れて送ってください。なお、証明書は発行され次第、郵送する封筒の表面に朱書きで「〇〇課程出願追加書類在中」と明記して送ってください。速やかに提出されない場合は、出願を受理しないこともありますのでご注意ください。

Q. 海外大学のオンライン証明書の提出は可能でしょうか。

A. 印刷した証明書とそれが公式発行の旨のWEB等をプリントアウトしたものを提出してください。なお、中国の大学については、募集要項を参照してください。

Q. 証明書の発行日の有効期間はありますか。

A. 出願前6ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

Q. 日本語能力試験の証明書発行に時間がかかりそうなので、他の日本語学力証明書（実用日本語検定）を提出してもよいですか。

A. 日本語学力証明書は本研究科所定の用紙又は日本語能力試験合格者は「認定結果及び成績に関する証明書」となっておりますので、「認定結果及び成績に関する証明書」が提出できないのであれば所定の様式により提出してください。

Q. 外国人ですが、日本の大学の科目等履修生は（日本の大学を卒業にあてはまる

として) 日本語能力証明を提出しなくて良いでしょうか。

A. 科目等履修生は日本の大学を卒業(見込)者ではないので提出が必要です。

Q. 「修士の学位論文及びその論文の要旨」について、論文が英語以外の場合、どのように提出したらよいでしょうか。また、論文要旨4000文字には論文題目と氏名も含まれますか。

A. 論文題目は正式なタイトル(英語以外のもの)を記載し、論文には日本語訳を付けてください。また、文字数については、論文題目、氏名を含め、4000字程度とお考えください。

Q. 「修士の学位論文及びその論文の要旨」について、共著の論文でもよいでしょうか。

A. 共著の論文しか提出できない場合には、自分の貢献箇所がわかるように明記等をして提出してください。

Q. 「修士の学位論文及びその論文の要旨」について、「修士の学位論文、あるいはこれに代わる論文1本のいずれかとする」とありますが、博士の学位を取得しているので、博士の学位論文でもよいでしょうか。

A. 修士論文に代わる論文に該当するかどうかはご自身で判断してください。

Q. 「修士の学位論文及びその論文の要旨」について、修士修了後に研究活動を行っています。修士の学位論文はありますが、修士論文ではなく、修士修了後の研究成果(学会発表や投稿論文等)を提出してもよいでしょうか。

A. 修士論文に代わる論文に該当するかどうかはご自身で判断してください。

Q. 教職開発コースの博士課程に出願予定ですが、修士論文を書かずに既に修了しています。「原則として修士の学位論文を提出すること」とありますが、例外的にどのようなものが修士論文に代わるものとしての提出が認められるでしょうか。

A. 修了した課程における学修の成果物(論文、報告書、レポート、作品など)、または修了後に執筆した論文等を提出してください。

Q. 教育内容開発コースの博士課程に出願予定です。修士の学位論文がないため代わりの論文を提出しよう思っておりますが、学生募集要項で指示された文字数に足りません。この場合には出願できないでしょうか。

A. 出願にあたり修士の学位論文に代わる論文を提出する場合には、日本語12,000字以上または英語4,000語以上の論文を提出してください。

Q. 学校開発政策コースの博士課程に出願予定ですが、学生募集要項で指示された分野での修士論文がありません。修士の学位論文に代わる論文を提出しようと思っていますが、「書式・分量について当コースの研究領域における学術誌の投稿規定に従って論文を作成する。」とあります。どのような規定なのでしょう。

A. 通常、学術誌の巻末もしくは、学会・学術誌のウェブサイトに投稿規定の詳細が示されていますので、それらを参照してください。

Q. 中国では出願のための角2封筒が入手できませんが、どうしたらよいですか。

A. 出願書類の封筒に関しては、A4書類が折らずに入るサイズであればかまいません。

出願フォームについて

Q. 正しく入力しているが、メールアドレス不一致の記載が出て完了できません。

A. メールアドレスの入力に関して、以下を確認ください。

- ・メールアドレスの前後にスペースやタブ等が入っていないか。
- ・メールアドレスの大文字・小文字は合っているか。

上記でも解決しない場合は、別のブラウザやPC等から再度入力を試みてください。

Q. マイページにログインできません。

A. オンライン出願フォームにて入力いただいた後、最後のページの「入力内容を確認する」ボタンをクリックしますと、入力された内容確認の画面となります。

確認いただいた後、「願書を作成する」をクリックしますと作成された願書等各種様式が表示され、その最初のページの一番上に受付番号が表示されます。受付番号はマイページへのログインの際に必要となりますので、必ずメモ等にて控えていただくよう注意書きを記載しております。

受付番号を控えられていなかった場合は、お手数ですが、出願フォームより再度ご入力くださるようお願いいたします。

Q. 複数回入力・変更してしまいました。

A. 一度アップロードした願書等を変更した場合でも、郵送された出願書類を最終版としますので最終版を印刷して郵送により出願してください。

また、郵送する書類は最後に入力修正した版であることを受付番号でよく確認するようにお願いします。

Q. 研究計画書の様式が見つかりません。

A. 「研究計画書」の様式は、本研究科ホームページに掲載しておりますオンライン出願フォームの最初のページ（注意・免責事項を表示）の項目「オンライン出願について」部分に掲載しておりますのでご確認ください。

Q. 研究計画書には図表の掲載は可能でしょうか。また、図表内の文字や参考文献

は字数制限に含めますか。

- A. 図表の掲載は可能です。図表内の文字は字数制限には含めませんが、様式の枠内に全体を収めるよう作成してください。参考文献の記載も字数制限に含めません。

Q. 写真がうまくアップロードできません。

- A. 写真をアップロードせずに願書作成を完了させることはできません。別のブラウザやPC等からアップロードを試みてください。